

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】令和5年9月27日(2023.9.27)

【公開番号】特開2022-49160(P2022-49160A)
 【公開日】令和4年3月29日(2022.3.29)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-055
 【出願番号】特願2020-155228(P2020-155228)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/325(2006.01)

B 4 1 J 17/36(2006.01)

10

【FI】

B 4 1 J 2/325 A

B 4 1 J 17/36 Z

【手続補正書】

【提出日】令和5年9月19日(2023.9.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一周期分のパネルの数が異なる複数の種別のインクリボンを使用可能な画像形成装置であって、

インクリボンを加熱して各パネルから転写フィルムへインクを転写し、前記転写フィルム上に画像を形成するサーマルヘッドと、

前記転写フィルムを加熱して、前記転写フィルムの転写領域にある前記画像を記録媒体へ転写する転写手段と、

30

前記パネルを透過する光量を検出する透過型センサと、

前記画像形成装置を制御する制御手段と、

を備え、

前記制御手段は、

前記透過型センサの出力に基づいて前記インクリボンの種別を判定する判定動作を行い、

前記一周期分のパネルのうち最後に位置するパネルに前記判定動作の結果に基づくコードを形成するために、前記最後に位置するパネルから前記転写フィルムの前記転写領域の外へコード形成用画像を転写し、

前記画像形成装置が起動したときに、前記最後に位置するパネルに形成した前記コードを前記透過型センサで検出したときの出力に基づいて前記インクリボンの種別を判定し、その判定結果に応じて前記画像形成装置の制御を行うことを特徴とする画像形成装置。

40

【請求項2】

前記コードは、前記インクリボンの種別に加えて、インクリボンの残量の情報を含むことを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記制御手段は、画像形成手段の起動時に前記コードを検出できなかった場合に前記判定動作を行って、前記判定動作の結果に基づいて前記最後に位置するパネルに前記コードの形成を行うことを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記インクリボンは、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのパネルを含み、前記最後

50

に位置するパネルはブラックであることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

本発明の画像形成装置は、一周期分のパネルの数が異なる複数の種別のインクリボンを使用可能な画像形成装置であって、インクリボンを加熱して各パネルから転写フィルムへインクを転写し、前記転写フィルム上に画像を形成するサーマルヘッドと、前記転写フィルムを加熱して、前記転写フィルムの転写領域にある前記画像を記録媒体へ転写する転写手段と、前記パネルを透過する光量を検出する透過型センサと、前記画像形成装置を制御する制御手段と、を備え、前記制御手段は、前記透過型センサの出力に基づいて前記インクリボンの種別を判定する判定動作を行い、前記一周期分のパネルのうち最後に位置するパネルに前記判定動作の結果に基づくコードを形成するために、前記最後に位置するパネルから前記転写フィルムの前記転写領域の外へコード形成用画像を転写し、前記画像形成装置が起動したときに、前記最後に位置するパネルに形成した前記コードを前記透過型センサで検出したときの出力に基づいて前記インクリボンの種別を判定し、その判定結果に応じて前記画像形成装置の制御を行うことを特徴とする。

10

20

30

40

50